

三井関係文献目録 二〇二四

※今号では本誌掲載論文を除き、二〇二三年二月～二〇二四年一〇月に刊行された文献情報を掲載しました。二〇二四年一月以降に刊行された文献情報は次号掲載予定です。

〈社史など〉

宮副謙司編『三越三五〇年…営業革新と挑戦の歴史』同友館
二〇二三年八月

〈単行本〉

嶋崎尚子・西城戸誠・長谷山隆博編著『芦別…炭鉱「ヤマ」とマチの社会史』寿郎社 二〇二三年十二月
村和明・吉村雅美編『伝統と改革の時代…近世中期（日本近世史を見通す・二）』吉川弘文館 二〇二四年一月
古田和子・太田淳編『アジア経済史 上』岩波書店 二〇二四年一月
姜尚中監修・青山亨・伊東利勝・小松久男・重松伸司・妹尾達彦・成田龍一・古井龍介・三浦徹・村田雄二郎・李成市編『激動の国家建設（アジア人物史第九巻）』集英社 二〇二四年二月
萬代悠編『三井大坂両替店の顧客信用情報…享保一七年から

明治二年まで』勉誠社 二〇二四年二月

萬代悠『三井大坂両替店…銀行業の先駆け、その技術と挑戦』中央公論新社 二〇二四年二月

中西聡編著『近代吉野林業と地域社会…廣瀬屋永田家の事業展開』日本経済評論社 二〇二四年二月

畠中茂朗『明治日本のローカル・アントレプレナー…旧長州藩士が担った地方の産業化と近代企業の創成』九州大学出版会 二〇二四年二月

三井記念美術館編『三井家伝世の至宝に関する文化的考察』三井記念美術館 二〇二四年三月

谷本雅之編著『日本経済の比較史』放送大学教育振興会 二〇二四年三月

水沼淑子『近代日本の別荘建築…湘南大磯の邸園文化』創元社 二〇二四年四月

新建築社編『三井物産ビル Mitsui & Co. Building・Otemachi One』三井物産 二〇二四年四月

霞会館華族文化調査委員会・霞会館一五〇年史分科会編『霞会館百五十年史』霞会館 二〇二四年六月

霞会館華族文化調査委員会・霞会館一五〇年史分科会編『私たちの一五〇年物語』霞会館 二〇二四年六月

横浜開港資料館・横浜幕末維新史研究会編『幕末の開港都

市・横浜・国際貿易港のルーツを探る（戎光祥近代史論集・五） 戎光祥出版 二〇二四年六月

嶋崎尚子・中澤秀雄・島西智輝・清水拓・張龍龍・笠原良太『台湾炭鉱の職場史・鉱工が語るもう一つの台湾』青弓社 二〇二四年八月

不審菴文庫編『わびと数寄・受け継がれる利休の心』表千家北山会館 二〇二四年九月

横山和輝『インセンティブの経済学・殖産興業から学ぶ経済学入門』新世社・サイエンス社（発売） 二〇二四年一月

〈論文 近世〉

高島正憲「近世初頭の建築労働者賃金―基本データの整理、解釈と課題」大阪経済大学日本経済史研究所『経済史研究』第二七号 二〇二四年一月

須賀博樹「由良家文書における伯州木綿史料・丹波屋作兵衛・宗兵衛の証文を含む」大阪商業大学商業史博物館『大阪商業大学商業史博物館紀要』第二四号 二〇二四年二月

牧原成征・村和明・多和田雅保「商人・交通・産業 資本主義とは異なる経済社会の姿」『日本近世史入門』ようこそ研究の世界へ！ 勉誠社 二〇二四年三月

高槻泰郎「お金のやりとりに見る近世社会の特質」『日本近

世史入門』ようこそ研究の世界へ！ 勉誠社 二〇二四年三月

佐藤雄介「お金」から考える幕府と天皇・朝廷『日本近世史入門』ようこそ研究の世界へ！ 勉誠社 二〇二四年三月

伊藤昭弘「多様な藩財政像を描き出す」『日本近世史入門』ようこそ研究の世界へ！ 勉誠社 二〇二四年三月

中西聡「『書評』高槻泰郎編著『豪商の金融史』・廣岡家文書から解き明かす金融イノベーション」『経営史学会『経営史学』第五八巻第四号 二〇二四年三月

池田宏「伝三井高安所用 白糸中紅系威胴丸具足と縹糸素懸威胴丸具足」三井記念美術館『三井美術文化史論集』第一七号 二〇二四年三月

高槻泰郎「商人から大名への献金―十八世紀中期の大坂を事例に」日本歴史学会編『日本歴史』吉川弘文館 第九一五号 二〇二四年八月

下向井紀彦「三井家擬制の兄弟」『日本歴史』編集委員会編『きょうだいの日本史』吉川弘文館 二〇二四年九月

岡崎佑也「安政東海地震における定飛脚間屋・三度飛脚間屋の災害対応」郵便史研究会『郵便史研究』第五七号 二〇二四年一〇月

下向井紀彦「経営史料からみる越後屋の貸傘」『三井文庫論

叢』第五八号 二〇二四年一月

〈論文 近代〉

石井幸孝「貨物鉄道一五〇年によせて」歴史科学協議会『歴史評論』第八八四号 二〇二三年二月

大豆生田稔「研究余録」政府所有米の海外売却と商社…一九三〇年代初頭「日本歴史学会編『日本歴史』吉川弘文館第九〇七号 二〇二三年一月

虎屋文庫「和菓子こぼれ話四七・四季の和菓子…常磐饅頭① 明治天皇への献茶」表千家同門会『同門』第六二九号 二〇二三年一月

宮崎忠恒「日本IBMのコンピュータ販売方式…一九七〇～八〇年代…レンタルからリースへの転換」経営史学会『経営史学』第五八卷第三号 二〇二三年一月

趙勝新「今治船主の台頭と国際化…一九七〇年代以降の日本海運業の再編」経営史学会『経営史学』第五八卷第三号 二〇二三年一月

谷内正往「書評」末田智樹著『日本百貨店業発展史…会社史で見るデパート経営』経営史学会『経営史学』第五八卷第三号 二〇二三年一月

金容度「日米企業システムの比較史序説(五)…雇用及び労使関係の日米比較史三…戦間期(上)」法政大学経営学会

『経営志林』第六〇巻第四号 二〇二四年一月

松村敏「明治後期における前田侯爵家の資産と経済行動…『皇室の藩屏』たる大華族」神奈川大学経済学会『商経論叢』第五九巻第二号 二〇二四年二月

中谷直司「外交の「経済化」は可能だったのか…幣原「経外交」の起源と形成」大阪経済大学日本経済史研究所『経済史研究』第二七号 二〇二四年一月

山口紘加「企画展「抄紙会社一五〇年—洋紙発祥の地・王子」を終えて」紙の博物館『百万塔』第一七七号 二〇二四年二月

是澤博昭「渋沢像形成過程における一考察(二) 渋沢栄一と水道改良事業…東京水道会社から東京市区改正委員会へ」渋沢研究会編『渋沢研究』渋沢史料館 第三六号 二〇二四年二月

柴田善雅「東洋製紙工業株式会社中国占領地における事業展開」大東文化大学『大東文化大学紀要 社会科学』第六二号 二〇二四年二月

吉田一正「大同生命の社会連携活動と加島屋本宅再現模型の制作」企業家研究フォーラム『企業家研究』第二三号 二〇二四年二月

南方建明「戦後百貨店の復興…一九三〇年代から一九五〇年代の動向分析を通して」大阪商業大学商業史博物館『大阪

商業大学商業史博物館紀要』第二四号 二〇二四年二月

二五号 二〇二四年三月

田中醇「北部九州における「甘い醬油」定着過程の検討…築
豊地域醬油醸造家の「アミノ酸醬油」製造に着目して」社
会経済史学会『社会経済史学』第八九卷第四号 二〇二四
年二月

粕谷誠「三菱財閥における分権化と本社による統轄…分系会
社と関係会社を中心に」三菱経済研究所『三菱史料館論
集』第二五号 二〇二四年三月

畠山久志「金融投資商品（投資信託）と業際問題について…
第二次世界大戦下の投資信託導入顧末」立正大学経済学会
『経済学季報』第七三卷第四号 二〇二四年三月

小杉亮介「一九三〇年代における三菱商事の養鶏飼料取扱…
合名会社伊藤和四五郎商店との提携による配合飼料生産・
販売を中心に」三菱経済研究所『三菱史料館論集』第二五
号 二〇二四年三月

細井拓真「高度成長期における石油化学工業の発展過程と制
度変化…官民協調形態の比較制度分析アプローチ」経営史
学会『経営史学』第五八卷第四号 二〇二四年三月

大島久幸・大石直樹「戦前期における三菱商事と外国売買」
三菱経済研究所『三菱史料館論集』第二五号 二〇二四年
三月

秦文憲「一九一〇年代から二〇年代初頭の三菱における企業
スポーツの位置…三菱倶楽部の事例から」経営史学会『経
営史学』第五八卷第四号 二〇二四年三月

柴田将平「両大戦間期における倉庫業の業務動向に関する分
析…三菱倉庫を事例に」三菱経済研究所『三菱史料館論集』
第二五号 二〇二四年三月

青木隆浩「書評」加藤慶一郎著『清酒業の社会経済史…一
九／二〇世紀の眺望』経営史学会『経営史学』第五八卷第
四号 二〇二四年三月

鹿野嘉昭「昭和金融恐慌と財閥系五大銀行…日銀調査資料等
に基づく分析」同志社大学経済学会『経済学論叢』第七五
卷第四号 二〇二四年三月

見波知信「書評」大豆生田稔著『戦前日本の小麦輸入…一
九二〇～三〇年代の環太平洋貿易』経営史学会『経営史
学』第五八卷第四号 二〇二四年三月

原口大輔「船越鉄道と船越築港」九州大学記録資料館 産業
経済資料部門『エネルギー史研究』第三九号 二〇二四年
三月

岡崎哲二「戦前期三菱商事の商品取引におけるリスク・リタ
ーの時間的变化」三菱経済研究所『三菱史料館論集』第

千早陽生「御徳炭鉱への千早正次郎のかかわりについて」九
州大学記録資料館 産業経済資料部門『エネルギー史研究』

第三九号 二〇二四年三月

福本寛・朝鳥和美・山下啓之・嶋崎尚子〔資料紹介〕須恵

町立歴史民俗資料館所蔵 志免鉱業所関連資料目録 九州

大学記録資料館 産業経済資料部門『エネルギー史研究』

第三九号 二〇二四年三月

平野恭平「経営史研究における写真の利用をめぐる小考・明治期綿紡績業の写真を中心に」神戸大学経済経営学会『国民経済雑誌』第二二八巻第一号 二〇二四年三月

海老澤るりは「橋岡一路氏の新寄贈贈面について」三井記念美術館『三井美術文化史論集』第一七号 二〇二四年三月

田中孝治「商法典の編纂と帳合法」愛知大学経営総合科学研究所『経営総合科学』第一二〇号 二〇二四年三月

大窪有太「戦前日本における政財界の存在形態…中央満蒙協会・日本外交協会に注目して」東京大学大学院人文社会系

研究科・文学部 日本史学研究室『東京大学日本史学研究室紀要』第二八号 二〇二四年三月

岡田直矢「近代教寄者、紅艶・益田英作の古美術商としての後半生」茶の湯文化学会『茶の湯文化学』第四一号 二〇二四年三月

松村敏「明治後期における旧加賀藩御用菓子司森八（森下家）の事業と地域経済…その展開と帰結」神奈川大学経済貿易研究所『経済貿易研究』第五〇号 二〇二四年三月

松林正一郎「頼朝丸…三井物産会社社船第三船」口之津史談

会『口之津の歴史と風土』第九号 二〇二四年三月

原田建夫「ピーター・ホルストロム船長」口之津史談会『口之津の歴史と風土』第九号 二〇二四年三月

橋川武郎「グローバル競争下でも新たな役割 日本経済の発展に貢献した財閥・企業集団」中央公論新社『中央公論』

第一三八巻第五号 二〇二四年四月

鷺崎俊太郎「大会報告」江戸の沽券帳と町名主による土地

所有の管理」政治経済学・経済史学会『歴史と経済』第六

巻第三号 二〇二四年四月

横山英信「書評と紹介」大豆生田稔著『戦前日本の小麦輸入…一九二〇～三〇年代の環太平洋貿易』吉川弘文館

（日本歴史学会編）『日本歴史』第九一二号 二〇二四年五月

高橋典子「川和織」について」神奈川大学日本常民文化研究所『民具マンスリー』第五二巻二号 二〇二四年五月

伊藤淳史「書評」大豆生田稔著『戦前日本の小麦輸入…一九二〇～三〇年代の環太平洋貿易』社会経済史学会『社会経済史学』第九〇巻第一号 二〇二四年五月

山中千尋「理化学研究所の黎明期における櫻井錠二の関与…設立過程と初期事業に注目して」経営史学会『経営史学』

第五九巻第一号 二〇二四年六月

- 四宮俊之〈「書評」〉四方田雅史著『大川平三郎…一途に日本の製紙業の発展を考える男』経営史学会『経営史学』第五九巻第一号 二〇二四年六月
- 柳沢遊「一九二〇年代前半期大連商業会議所会員の大量退会現象…満洲」『バブル経済崩壊の爪痕』日本植民地研究会『日本植民地研究』第三六号 二〇二四年六月
- 須永徳武「鈴木邦夫先生と満洲企業史研究」日本植民地研究会『日本植民地研究』第三六号 二〇二四年六月
- 大石直樹「鈴木邦夫先生と商社史研究」日本植民地研究会『日本植民地研究』第三六号 二〇二四年六月
- 三澤圭輔「第十九銀行の製糸金融・製糸資金貸出計画書にみる信用格付の必要性」政治経済研究所『政経研究』第一二二号 二〇二四年六月
- 樋口勝利「日本綿業の工業化と三輪常次郎…服部商店の商工兼営と綿織物産地の形成」慶応義塾経済学会『三田学会雑誌』第一一七巻第一号 二〇二四年六月
- 藤村聡「戦前期の三井物産における横領事案とその対応」神戸大学経済経営学会『国民経済雑誌』第二二八巻第二号 二〇二四年六月
- 高野晴代「桜楓会設立二〇周年を迎えて」日本女子大学成瀬記念館『成瀬記念館』第三九号 二〇二四年七月
- 杉崎友美「桜楓樹と桜楓館」日本女子大学成瀬記念館『成瀬記念館』第三九号 二〇二四年七月
- 清水ふさ子「近代日本における企業の記録管理と社史編纂について」企業家研究フォーラム『企業家研究』第二四号 二〇二四年七月
- 藤岡里圭〈「書評」〉宮副謙司編著『三越三五〇年…営業革新と挑戦の歴史』企業家研究フォーラム『企業家研究』第二四号 二〇二四年七月
- 福田真人「明治後期における住友銀行の地域間・本店間資金配分」住友史料館『住友史料館報』第五五号 二〇二四年七月
- 沢井実「住友製鋼所の外輪生産」住友史料館『住友史料館報』第五五号 二〇二四年七月
- 渡邊純子「太平洋戦争期における住友の資金調達」住友史料館『住友史料館報』第五五号 二〇二四年七月
- 藤井崇史「一九二〇年代における通商・貿易問題と日本経済連盟会…国際商業会議所への関与をめぐって」續文堂出版（歴史学研究会編）『歴史学研究』第一〇五一号 二〇二四年八月
- 市原博「〈書評と紹介〉嶋崎尚子・西城戸誠・長谷山隆博編著『芦別…炭鉱〈ヤマ〉とマチの社会史』」法政大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』第七九〇号 二〇二四年八月

正田幸弘「三井先生とWIP A展等」切手研究会『切手研究』第四九九号 二〇二四年八月

林直樹「都市銀行の地方進出と貸出競争…一九七〇年代の京都金融市場」社会経済史学会『社会経済史学』第九〇巻第二号 二〇二四年八月

趙勝新「一九八〇年代における日本海運業と香港船主の再編…総合商社船舶部業務の拡大と「備船商売」」社会経済史学会『社会経済史学』第九〇巻第二号 二〇二四年八月
熊倉功夫「益田鈍翁の茶会記覚書」不審菴文庫『茶の湯研究』第一五号 二〇二四年八月

三科仁伸「〈書評〉村山元理著『中島久万吉・高僧といわれた財界世話役の研究』」経営史学会『経営史学』第五九巻第二号 二〇二四年九月

梅干野成央「擬洋風建築」建築史学会『建築史学』第八三号 二〇二四年九月

松本和明「郡是製糸創業者・波多野鶴吉の事績の顕彰についての一考察(Ⅰ)」京都産業大学マネジメント研究会『京都市マネジメント・レビュー』第四五号 二〇二四年九月

木村昌人「井原から日本の未来を考える…新札発行を祝して」渋沢栄一記念財団『青淵』第九〇六号 二〇二四年九月

大石直樹「〈書評と紹介〉武田晴人著『日本経済の発展と財

関本社・持株会社と内部資本市場』法政大学大原社会問題研究所『大原社会問題研究所雑誌』第七九一・七九二号 二〇二四年一〇月

今井修平「地方史研究と自治体史の編纂・執筆」地方史研究協議会『地方史研究』第四三一号 二〇二四年一〇月
土屋暁「〈参加報告〉後世に伝えるもの…第三五回地域施設見学研究会「事前勉強会」に参加して」企業史料協議会『企業史料協議会ニューズレター』第一八八号 二〇二四年一〇月

永田雄大「〈参加報告〉第三五回地域施設見学研究会「北海道・企業史料の活用と公開を石炭産業に学ぶ」企業史料協議会『企業史料協議会ニューズレター』第一八八号 二〇二四年一〇月

〈その他〉

九州大学記録資料館編『石炭研究資料叢書 第四五輯』九州大学記録資料館 二〇二四年三月

九州大学附属図書館付設記録資料館『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター』第一八号 九州大学附属図書館付設記録資料館 二〇二四年三月

帝国データバンク史料館「近世商傑伝…馬越恭平・田附政次郎・安田善次郎・渋沢栄一・古河市兵衛」帝国データバ

ク史料館『Muse』…帝国データバンク史料館だより…ミューズ』第四五巻 二〇二四年九月

帝国データバンク史料館「金融機関における信用調査の歴史と信用調査機関」帝国データバンク史料館『Muse』…帝国データバンク史料館だより…ミューズ』第四五巻 二〇二四年九月

下向井紀彦〈史料紹介〉大塩の乱後における三井越後屋大坂本店の再建記録…天保十一年「開店諸用控」『三井文庫論叢』第五八号 二〇二四年一月

下向井紀彦〈史料紹介〉三越社員のみた競合百貨店…昭和八年「神戸大丸視察記」『三井文庫論叢』第五八号 二〇二四年一月

吉田ますみ〈史料紹介〉華中における生産増強と三井物産…中支生産増強本部設置（昭和十九年）について『三井文庫論叢』第五八号 二〇二四年一月

〈補遺〉

萬代悠「和泉清水領の利殖と救荒」日本史研究会『日本史研究』第七二七号 二〇二三年三月

橋口勝利「近代日本綿業の对中国投資…在華紡と同興紡織株式会社」慶應義塾経済学会『三田学会雑誌』第一一六巻第三号 二〇二三年七月

田中幹大「金型の「矛盾」と大企業…中小機械金属工業におけるデザイン・イン関係の歴史的発生過程…高度成長期におけるプラスチック射出成形用金型製造を対象に」慶應義塾経済学会『三田学会雑誌』第一一六巻第三号 二〇二三年一月

森本真世「鉦山における管理体制と労務管理…農商務省鉦山局『鉦夫待遇事例』（一九〇八年）を用いた数量分析」社会経済史学会『社会経済史学』第八九巻第三号 二〇二三年一月

松浦章「日本統治期台湾と日本との船腹問題について」日本海事史学会『海事史研究』第八〇号 二〇二三年一月

三井文庫の刊行物案内

三井文庫所蔵史料目録（既刊分のみ）

- | | |
|-----------------------------|-------|
| ① 『一件書類目録（京本店等原所蔵分）』 | 三四〇〇円 |
| ② 『主要帳簿目録（京本店等作成分）』 | 二四〇〇円 |
| ③ 『主要帳簿目録（江戸本店、大坂本店等作成分）』 | 三三〇〇円 |
| ④ 『主要帳簿目録（京両替店等作成分）』 | 二〇〇〇円 |
| ⑤ 『主要帳簿目録（江戸両替店等作成分）』 | 一七〇〇円 |
| ⑥ 『主要帳簿目録（大坂両替店等作成分）』 | 二三〇〇円 |
| ⑦ 『主要帳簿目録（河内新田会所等作成分）』 | 八〇〇円 |
| ⑧ 『主要帳簿目録（大元方等作成分）』 | 一六〇〇円 |
| ⑨ 『一件書類目録（京・江戸・大坂両替店等原所蔵分）』 | 二一〇〇円 |
| ⑩ 『一件書類目録（大元方原所蔵分一）』 | 一四〇〇円 |
| ⑪ 『一件書類目録（大元方原所蔵分二）』 | 一三〇〇円 |
| ⑫ 『式目録目録（原所蔵者別）』 | 一一〇〇円 |
| ⑬ 『一件書類目録（補遺）』 | 一四〇〇円 |

三井事業史（二〇〇一年全巻完結）

- | | |
|---------------|--------|
| 『三井事業史 本篇第一巻』 | 一二五〇〇円 |
| 『三井事業史 本篇第二巻』 | 一二五〇〇円 |

『三井事業史 本篇第三巻上』 九五〇〇円

『三井事業史 本篇第三巻中』 二一五〇〇円

『三井事業史 本篇第三巻下』 二五五〇〇円

『三井事業史 資料篇一』 一一五〇〇円

『三井事業史 資料篇二』 七五〇〇円

『三井事業史 資料篇三』 七五〇〇円

『三井事業史 資料篇四上』 九〇〇〇円

『三井事業史 資料篇四下』 (品切)

三井文庫論叢

在庫・頒価については、三井文庫までお問い合わせください。
 ※二〇二三年四月より、掲載記事の一部についてPDF版の公開を開始いたしました。公開PDFは三井文庫WEBサイトからご覧いただけます。

以上の三井文庫刊行物の購入は、三井文庫へ直接お申込みください。価格は、二〇〇四年以降の新価格（本体価格）。

『史料が語る三井のあゆみ―越後屋から三井財閥―』
 発売は吉川弘文館。定価一六〇〇円（税別）。

本書は全国書店にご注文ください。

新規公開資料について

二〇二四年三月十一日、八月五日より左記資料を公開した。
三井物産会社資料 請求記号「物産」八〇〇一―一―三

二八三三―二八三四

これまで、三井文庫では約五、六〇〇点の三井物産会社資料を公開してきたが、今回、新たに五点の資料を公開した。

三井物産奉天支店の香川卓一の日記と関連資料（八〇〇一―一―三）、また終戦時に三井物産が所有した在外財産に関する統計報告書（二八三三）およびその準備資料（二八三四）である。

二〇二四年九月十三日より左記資料を公開した。

関正献資料 請求記号「関正献」

一―二六

本資料（全五〇点）は、二〇二三年に関正哉氏より寄贈を受けたものである。原所蔵者の関正献氏は、一九二七年（昭和二）に東京帝国大学法学部を卒業した後、三井鉱山の関係会社である松島炭鉱に入社し、一九三四年から三井鉱山本店（調査部、後の労務部）に在籍した。本資料の大半は、同氏の手元に残されていた一九二七年から一九四一年にかけての労務関係資料で、左記のとおり、松島炭鉱時代のものとは三井鉱山本店時代のものに分けられる。

(一) 松島炭鉱関係

松島炭鉱の共済会、健康保険組合、共愛組合に関連する資料、鉱夫に関する統計表などがある。また、鉱夫募集や安全運動の資料も含まれている。

(二) 三井鉱山本店関係

鉱夫・職員の給与や退職手当に関する記録のほか、健康保険組合、共愛組合の資料などがある。

二〇二四年十一月一日より左記資料を公開した。

本社資料 請求記号「本社」

五九六―六〇三―三

これまで、三井文庫では約五九〇点の本社資料を公開してきたが、今回、新たに一〇点の資料を公開した。いずれも整理時に脱落等したと思われる雑多な資料だが、持株会社整理委員会の財閣解体資料（五九六）や三井本社規則類輯（五九七）などが含まれる。これにより本社資料は欠本等をのぞきすべて公開となった。

三井鉱山資料 請求記号「鉱50稿本」

九〇一―九一五

三井文庫が所蔵する三井鉱山資料のうち三井鉱山五十年史の編纂に関わる「鉱50稿本」の史料群において、新たに十五点の資料を公開した。いずれも写真アルバムで、人物写真のほか、三池、田川、山野、品川、美唄、芦別、神岡、串木野

など各鉱山の写真を収録している。

いずれの資料も検索は所蔵資料データベース (<https://jma.pps.ne.jp/mitsuibunko/index.html>) または閲覧室備付の冊子目録で行い、香川卓一の日記と関連資料(八〇〇一〜三)を除き、デジタル画像により閲覧に供するものとする。

公益財団法人 三井文庫

役員

理事長 北山 禎介
 副理事長 飯島 彰己
 副理事長 岩沙 弘道
 常務理事 武田 晴人
 文庫長
 理事 三井記念美術館館長
 理事 清水 眞澄
 理事 石井 寛治
 理事 齋藤 修
 理事 細谷 敏幸
 理事 三井八郎右衛門
 監事 江頭 敏明
 監事 古澤 熙一郎

評議員

三井 沼子 生
 赤沼 良一
 岡來 正年
 加井 博
 角井 卓一
 梶浦 卓
 梶浦 卓
 粕谷 誠
 木村 道夫
 河野 昭夫
 古賀 元昭
 近藤 博文
 座間 雅之
 鈴木 康
 仙田 貞隆
 武田 信二

田中 稔一
 綱川 智
 日覺 昭行
 則久 芳稔
 古谷 文雄
 馬城 文雄
 滿岡 次郎
 宮内 直孝
 宮本 又郎
 武藤 光一
 吉高 紳介

定価 本体二、一〇〇円（税別）

二〇二四年二月一六日発行

三井文庫 論叢 第五八号

編集兼 発行人 公益財団法人 三井文庫

代表者 武田晴人

発行所 公益財団法人 三井文庫

東京都中野区上高田五丁目一六番一号
 郵便番号 一六四一〇〇〇二
 電話〇三三三三八七（九四三）代表
 ファックス〇三三三三八七（九四三）
 振替口座〇〇一〇一五十三一六六

印刷・株式会社三秀舎